

神野工務店の新築 地震に強い家づくりについて

私たち神野工務店では、家の基礎部分である「木材」「耐震」「気密」「断熱」にこだわりを持って家を建てています。

建ててしまうと隠れてしまう部分だからこそ、弊社は家づくりを考えているお客様に、基礎、構造、完成と、私たちが建てている家の全てを隠すことなく見ていただいております。

弊社は第三者機関の厳しい検査のもと、全棟「①地盤調査→②配筋検査（基礎）→③躯体検査→④気密検査→⑤完了検査」を行っています。

【耐震等級3+制震】の地震に強く強固な家づくりに取り組んでおり、そのために①地盤調査、②配筋検査、③躯体検査は、耐震等級3の住宅を建てるためにとても重要な検査です。

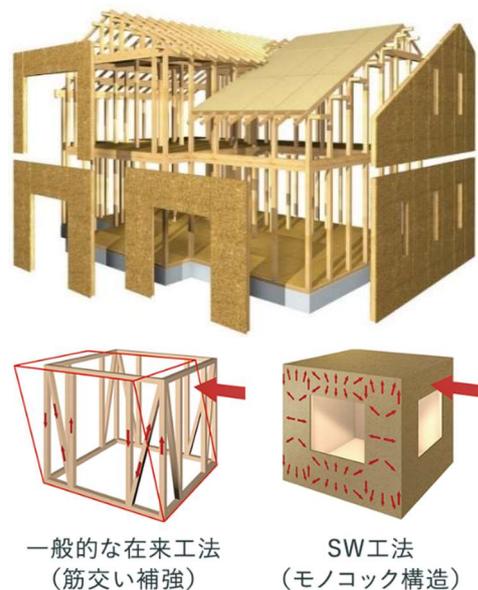
さらに、構造には一般的な在来工法ではなく、飛行機と同じ「モノコック構造」の「軸組パネル工法」を採用しています。在来工法では、揺れが発生した際に、耐力壁となる筋交いが耐えられなくなり、折れてしまうことがあります。また、コストが安い建て売り住宅に多く使われています。

制震については、制震テープを採用しています。このテープは粘着力が非常に強く、躯体と断熱材の間に挟むことで、地震の揺れを効果的に吸収し、繰り返しの地震で発生する釘の浮きや外れを防止してくれます。

築40年の建て替えのお問い合わせも増えています。

新築を考えている方は、ぜひ神野工務店にご相談ください。現在、7棟の新築が進行中です！

是非インスタグラム「@kamino.koumuten」をフォローして、イベント情報をチェックしてくださいね☆



一般的な在来工法
(筋交い補強)

SW工法
(モノコック構造)

5/25-26 新築基礎見学会のご報告

先日、神野工務店では初めての「基礎見学会」を開催いたしました！
今日はその様子をレポートします。

日本は地震大国であり、地震に強い家づくりは非常に重要です！
そんな中、「地震に対する不安を解消し、安心して生活できる家」
をテーマに見学会を企画しました。

見学会では、以下のポイントに注目していただきました🔍

- ・基礎の配筋構造：大地震にも耐えられる強固な配筋構造を実際にご覧いただきました。
- ・耐震技術の紹介：最新の耐震技術を駆使した基礎工事のプロセスを詳しく説明しました。
- ・質疑応答：お客様からの質問に対し、有識者が直接回答することで、安心感を深めていただきました。

見学会にご参加いただいたお客様からは、多くの驚きとともに以下のような嬉しいお言葉を頂きました。

- ・「基礎がこれほど重要だとは知りませんでした。安心して任せられます。」
- ・「実際に見て、触れて、説明を聞いて、納得しました。ありがとうございました。」
- ・「家族全員で見学できたので、全員が安心できました。」

皆様の安全な暮らしを守るために、これからも高品質な家づくりに努めてまいります🌱

